

令和6年度 土浦市立土浦第五中学校 グランドデザイン

◎茨城県総合計画

～活力があり、県民が
日本一幸せな県～
茨城県の未来を
つくる「人財」育成

学校教育目標(長期)

相互承認の感性と自立する力を育み、
他と共に成長できる生徒を育成する

◎土浦市学校教育目標
一人ひとりを生かす創意と活
力に満ちた学校教育を推進し、
「確かな学力」「豊かな心」
「健やかな体」を育む

目指す学校像

- ◆安全・安心で活力のある学校
- ◆生徒の感性が磨ける美しい学校
- ◆保護者や地域に信頼される学校

目指す生徒像

- 『自主・協同・奉仕の精神と実践力をもつ生徒』
- ◆自信をもち、夢や希望に向かって努力する生徒
 - ◆人に優しく接し、協力する生徒
 - ◆進んで活動し、貢献することの喜びを求める生徒

目指す教師像

- ◆人間性豊かで高い使命感をもった教師
- ◆生徒の気持ちを理解できる教師
- ◆求めて研鑽し、自らを磨く教師

確かな学力

- 重点目標: 学びに向かう力の向上
- ・主体的・対話的で深い学びのある授業実践
 - ・問いのある学習課題の提示及び導入や学習の振り返り等、課題解決型の授業実践
 - ・AIツールや学習支援システム等、ICTの活用

豊かな心

- 重点目標: 自己肯定感の向上
- ・考え、議論する道徳への質的転換
 - ・いじめ防止、情報モラル教育の充実
 - ・自己有用感につながる生徒会活動等の実施
 - ・定期的な教育相談の実施
- (iチェック、QUテスト、生活アンケートの活用)

健やかな体

- 重点目標: 体力・自己管理能力の向上
- ・体力づくり授業の工夫
 - ・効果的な部活動指導の工夫
 - ・外部講師による各種講演会等の実施
 - ・学校保健委員会の活性化

学校経営方針

働き方改革の推進による効果的な教育活動を展開する
～目的と手段の明確化～

教育目標(中期)

- ◆自ら学び、自ら考え、自ら判断して行動できる生徒の育成
- ◆自ら社会に参画しようとする生徒の育成

組織目標(短期)

- ◆自分の考えをもって、他者と話し合うことができる生徒を育成する

働き方改革目標

- ◆教員が生徒と向き合う時間を確保できている ★100%
- ◆教職員のワーク・ライフバランスがとれている ★90%以上

キャリア教育

- 重点目標: 社会参画への意欲向上
- ・いばらきキャリアパスポートの活用
 - ・各種体験活動の充実
 - ・地域・外部との連携強化
 - ・教科横断的な授業・行事等の実施

特別支援教育

- 重点目標: 一人一人の教育的ニーズの実現
- ・ユニバーサルデザインのある授業づくり
 - ・個別的教育支援計画、指導計画の活用
 - ・巡回相談やスクールカウンセラー等の活用
 - ・個別ケース会議の実施

校内研究テーマ

生徒自ら考え、判断し、
表現する力を高める指導の工夫
～自分の考えをもって、
他者と話し合う活動を通して～